

一般財団法人 保健福祉広報協会

令和5年度 事業報告

国内外の福祉機器に関する有益な情報の提供及び保健福祉・介護等社会保障制度の啓発向上に資することを目的として、H.C.R.2023 第50回国際福祉機器展&フォーラム（以下、実展示会）を令和5年9月27日(水)～9月29日(金)の3日間にわたり東京ビッグサイト東展示ホールで開催し、**11か国2地域**から**375社・団体**が出展、延べ**11万3,139名**が来場した。

また、ハイブリッドな取り組みとして、国際福祉機器展 Web2023（以下、H.C.R.Web2023）を令和5年8月28日(月)～10月30日(月)の間開催し、オンライン上で**379社・団体**が出展し、**1,983,956ビュー**の閲覧を得た。

実展示会の会期中には、福祉機器の開発最前線の紹介や機器の選び方や使い方の紹介、障害のある子ども向けの機器や福祉機器利用者向けの各種相談実施、さらには世界の福祉機器関連情報を一覧できる企画など高齢者、障害者、児童分野における福祉機器の情報提供に取り組んだ。

さらに、障害や年齢、性別等に関係なく、だれもおしゃれを楽しめる Next Universal Design (NextUD) を発信するファッションショーやパラスポーツ、eスポーツを体験できる企画、障害のある人のデザインとアートの実演展示企画などを幅広く展開した。

公益目的事業としては、保健・福祉・介護など社会保障分野の課題や政策動向をテーマとし、世界の福祉機器のトレンド等を共有する国際シンポジウム企画や、福祉機器の変遷と未来を展望する内容、また、地域共生社会づくりや福祉施設におけるサービスの質の向上等を含む各種のセミナーを実展示会にて実施するとともに、Web展においてアーカイブ配信した。さらに、保健福祉 News の発行、海外の福祉機器展示会情報の共有や国内の常設展示場の調査などを実施した。

1. 実施事業等会計事業（公益目的事業）

(1) ふくしの国際シンポジウム開催事業

① 国際シンポジウムの開催

2040年に向かうわが国の高齢社会の現状をふまえつつ、地域共生社会の実現に資する福祉機器の展望を見据えるため、欧州、米国、日本のそれぞれの圏域の状況に即した福祉機器の開発・販売のトレンドや最新情報を共有することを内容としたシンポジウムを、外国の専門家の招へい等により開催した。ICTなどの先端技術が福祉機器の開発にも活かされ、高齢者や障害者の自立と社会参加を促している事例が紹介されるなど、わが国における福祉機器の開発・普及に向けて多くの示唆を得ることとなった。

○テーマ 「世界の福祉機器を一望する～オランダ、デンマーク、米国、日本のいま～」

○開催 令和5年9月28日(木)

○講師・シンポジスト

【第1部】基調講演 ～オランダ福祉市場の発展とトレンド～

ピーター・テルプストラ氏（オランダ王国大使館 経済・気候 公使参事官）

【第2部】エリアレポート ～福祉機器開発・販売市場の現状と今後の可能性～

マッツ・ビアリング・ラ・クール氏（デンマーク政府保健局高齢者・認知症担当ディレクター）

モルテン・ラスムセン 氏（Danish Care CEO／デンマーク）

ヨルグ・バース 氏（北米地区担当 H.C.R.海外コーディネーター／USA）

松永 紀之 氏（株）松永製作所代表取締役社長）

田澤 英二 氏（保健福祉広報協会理事／進行役兼務）

○参加者 245名

○Web 映像公開 令和5年10月2日～10月30日 閲覧数：287ビュー
H.C.R.Web サイトにて

(2) ふくしのセミナー・講座開催事業

福祉機器利用者や福祉・介護関係者にとってのサービスの質の向上、経営、制度改革など課題となっているテーマをとりあげ、その理解や知識・技術の向上を図るためのセミナーを「プレミアムセミナー」「福祉機器 選び方・使い方セミナー」「身近な ICT 活用講座」「セミナーPlus One」の4会場に分け、**合計 25本のセミナー**を開催した。

参加者は利用者やその家族、介護支援専門員、社会福祉施設設職員、ホームヘルパー、社協職員、福祉機器関係企業関係者など、**延べ 2,456名が参加**し各課題についての理解や知識を深める機会となった。

一部のセミナーは H.C.R.Web サイトにてアーカイブ配信した（**延べ閲覧数：5,283ビュー**）。

① 福祉機器、福祉サービスの利用者・家族セミナー（一般向け）

A. プレミアムセミナー「多世代交流・コミュニティケアを通じた住民共創のまちづくり～Fujisawa サスティナブル・スマートタウンの取り組み～」

日 程 令和5年9月27日(水)

会 場 東京ビッグサイト 東展示ホール8内特設会場

講 師 志波 崇裕氏（パナソニックオペレーションズ株式会社ビジネスソリューション本部スマートシティ推進部 SST 推進課）

会場参加者 116人

Web 映像公開 令和5年10月2日～10月30日／閲覧数：330ビュー

B. 福祉機器 選び方・使い方セミナー

日 程 令和5年9月27日(水)～9月29日(金)

参加者 延べ1,209人

会 場 東京ビッグサイト 東展示ホール3内特設会場

| | | |
|--|----------|--|
| ア. トイレ・排泄用品編 | 牧野 美奈子 氏 | NPO 法人日本コンチネンス協会 |
| イ. 住宅改修編 | 橋本 美芽 氏 | 首都大学東京健康福祉学部准教授 |
| ウ. 入浴機器編 | 加島 守 氏 | 高齢者生活福祉研究所所長／理学療法士 |
| エ. ベッド編 | 市川 洌 氏 | 福祉技術研究所(株)代表取締役 |
| オ. リフト等移乗用品編 | 市川 洌 氏 | 福祉技術研究所(株)代表取締役 |
| カ. 杖・歩行器等補助用品編 | 加島 守 氏 | 高齢者生活福祉研究所所長／理学療法士 |
| キ. 車いす編 | 堀家 京子 氏 | 公益財団法人武蔵野市福祉公社、作業療法士 |
| ク. 福祉に役立つ情報機器・電子機器編 | 巖淵 守 氏 | 早稲田大学人間科学学術院教授 |
| ケ. 福祉車両編 | 水谷 宣昭 氏 | 国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局 第二自立訓練部肢体機能訓練課自動車訓練室 |
| | 田中 亮造 氏 | 目白大学保健医療学部理学療法士学科講師 |
| コ. 自助具編 | 岡田 英志 氏 | ヒューマン代表 |
| サ. 専門職向けセミナー 介護・福祉サービスと医療・看護・リハビリの専門性との連携 | 稲川 利光 氏 | 令和健康科学大学 リハビリテーション学部 学部長・教授 |

H.C.R.Web ページにおけるアーカイブ配信：

令和5年10月2日～10月30日 閲覧数 延べ4,220 ビュー

なお、同セミナーの副読本は、Web において入手したいカテゴリーの情報を集中選択して簡易に閲覧し、また無料ダウンロードして使用できるかたちを踏襲するとともに、テキスト化し、H.C.R.2023 会場内にて販売した。

C. 身近な ICT 活用講座 2023

日 程 令和5年9月27日～29日

会場参加者 延べ785人

会 場 東京ビッグサイト 東展示ホール6 特設会場

| | |
|--|---|
| ア. 身近な情報機器を用いた障害のある人や高齢の人の生活支援～パソコンやスマートテクノロジーの利用～ | 巖淵 守 氏(早稲田大学人間科学 学術院) 千葉 慎二氏(日本マイクロソフト 株式会社) |
| イ. 障害のある人や高齢の人のためのスマホ・タブレット活用～最新のアクセシビリティ機能と関連製品の紹介～ | 山口 俊光 氏(新潟市障がい者 ICT サポートセンター、新潟大学自然 科学系) |
| ウ. 見えにくさを抱える人の生活に役立つ様々な支援製品と工夫 | 山口 俊光 氏(新潟市障がい者 ICT サポートセンター、新潟大学自然 科学系) |
| エ. 重度障害のある人の生活の工夫と機器の利用～役立つ道具選びのためのポイント～ | 吉成 亜実氏(AT2ED) 奥山 俊博氏(東京大学先端科学 技術研究センター) |
| オ. AI時代の福祉と生活支援～最新 ICT の紹介とその活用～ | 巖淵 守 氏(早稲田大学人間科学 学術院) |
| カ. 聞こえに困難を感じる人に役立つ様々な道具と工夫～身近にある機器の活用～ | 志磨村 早紀氏(東京大学先端科学 技術研究センター) |
| キ. 職場や学校における障害や病気を抱える人への支援とテクノロジー利用 | 近藤 武夫 氏(東京大学先端科学 技術研究センター) |
| ク. 障害のある人・高齢の人への地域における支援と ICT 等の技術の活用 | 渡辺 崇史 氏(日本福祉大学健康 科学部) |

② 福祉施設・在宅サービス事業所役職員向けセミナー

A. プレミアムセミナー「利用者を大切にした福祉サービスとその質の向上の実現～求められる人材育成像～」

日 程 令和5年9月28日

会場参加者 141人

会 場 東京ビッグサイト 東展示ホール8 特設会場

講 師 【基調報告】吉田 昌司 氏(厚生労働省社会・援護局福祉基盤課 福祉人材確保
対策室長)

【スピーカー】

野澤 和弘 氏 植草学園大学 副学長・発達教育学部 発達支援教育学科 教授

平田 ルリ子 氏 社会福祉法人 慈愛会 清心乳児園 園長／全国乳児福祉施設協
議会 会長

湯川 智美 氏 社会福祉法人 六親会 理事長 ※進行役兼務

Web 映像公開 令和5年10月2日～10月30日／閲覧数：351ビュー

B. セミナーPlus One「法人・施設のICT活用事例報告」

日 程 令和5年9月29日

会場参加者 68人

会 場 東京ビッグサイト 東展示ホール6 特設会場

講 師 司会 廣江 晃 氏 (全国社会福祉法人経営者協議会ふくしDX推進特別委員長)

コメンテーター 山口 純 氏 (株式会社ヤマグチ 代表取締役／工学博士)

事例1 (福) 佑啓会／千葉県

事例2 (福) 洗心福祉会／三重県

Web 映像公開 令和5年10月2日～10月30日

C. セミナー Plus One「ふくし未来塾プレゼンテーション ～福祉現場の次世代リーダーが描く未来像～」

日 程 令和5年9月28日

会場参加者 30人

会 場 東京ビッグサイト 東展示ホール3 特設会場

講 師 全社協ふくし未来塾修了生

山下興一郎 氏 (淑徳大学准教授)

Web 映像公開 令和5年10月2日～10月30日／閲覧数：64ビュー

③ 福祉機器関連企業・団体関係者向けセミナー

A. プレミアムセミナー「海外進出をすすめる福祉機器企業の展開例」

日 程 令和5年9月28日

会場参加者 76人

会 場 東京ビッグサイト 東展示ホール8 特設会場

講 師 【基調説明】南須原 美恵氏 (経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室 室長補佐)

【講師】

中西 敦士 様 (トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社 代表取締役)

高橋 立氏 (株式会社FUJI ロボットソリューション事業本部 技術開発部第5課)

Web 映像公開 令和5年10月2日～10月30日／閲覧数：200ビュー

B. セミナー Plus One「福祉用具法の30年～暮らしを支え、社会を拓く～」

日 程 令和5年9月27日

会場参加者 31人

会 場 東京ビッグサイト 東展示ホール3 特設会場

講 師 後藤 芳一氏 (一般財団法人 機械振興協会副会長)

山内 繁 氏 (特定非営利活動法人 支援技術開発機構理事長)

安田 勝紀 氏 (シルバー産業新聞 編集長)

司会 井上 剛伸 氏 (国立障害者リハビリテーション研究所 福祉機器開発部長)

Web 映像公開 令和5年10月2日～10月30日／閲覧数：118ビュー

(3) H.C.R.ニュース発行事業

① 日本語版

- a. 保健福祉 News2023 №4 通巻 168 号 (令和 5 年 8 月 1 日発行、6,000 部)
- b. 保健福祉 News2023 №5 通巻 169 号 (令和 5 年 9 月 5 日発行、5,650 部)
- c. 保健福祉 News2024 №1 通巻 170 号 (令和 6 年 1 月 10 日発行、5,800 部)
- d. 保健福祉 News2024 №2 通巻 171 号 (令和 6 年 2 月 15 日発行、5,650 部)
- e. 保健福祉 News2024 №3 通巻 172 号 (令和 6 年 3 月 15 日発行、5,600 部)

② 英語版

- a. H.C.R.News2024 for English №1 (令和 6 年 1 月 16 日発行、Web 公開)

日本語版保健福祉 News (H.C.R.ニュース) はメールマガジン購読者 67,035 人にインターネットを通じて配信するとともに、英語版ニュースを本会海外用 Web サイトに掲載した。

(4) 広報・調査研究事業

① 世界の福祉機器市場や福祉等現場における機器有効活用等に関する調査

世界の福祉機器市場と関連動向・状況を把握するため、海外の状況を海外コーディネーターの協力により情報収集して、今後の取り組みに資することにつなぐ。

また、海外で開かれる福祉機器展示会の開催予定に関する情報等を収集し、Web サイトや保健福祉 News で紹介した。

② 福祉機器関連調査の実施

ア) 福祉機器利用者アンケートの実施

福祉機器関連調査のため、H.C.R.実展示会会期中、来場者のうち福祉機器を利用している方々を対象にアンケートを実施し、福祉機器ユーザーや介護に携わる家族、福祉施設・団体のケアマネジャーなどから 178 件の回答があった。調査結果は、保健福祉 News2024No.3 に掲載予定で、広く関係者への情報提供を行う。

イ) 福祉機器常設展示場調査の実施

福祉機器利用者に国内の福祉機器常設展示場の情報を提供するため、展示場の場所、規模、展示品数などについて調査を実施し、87 か所から回答があった。

調査で得た結果は、保健福祉 News 及び H.C.R.Web サイトに掲載し、利用者への情報提供を行った。

③ 福祉サービス利用者への福祉機器情報相談提供の実施

H.C.R.2023 実展示会場内において、「福祉機器の利用」や「自助具」に関する相談コーナーを設け、理学療法士、作業療法士、社会福祉士や自助具作成の専門家が来場者の相談に応じつつ、必要な福祉機器情報を提供した。

さらに、保健福祉 News2024No.3 にて開催効果も含めた振り返り記事を掲載予定。

④ 障害の理解に資する体験の場の実施も含めた関係情報の発信

車いすユーザー等も含めたユニバーサルなファッションショーの実施、各種パラスポーツや e スポーツの体験、障害のあるアーティストが描くアート作品展示等を通じて、障害の理解を一層深めるための各種情報発信を行った。その実施報告と効果等について保健福祉 News 等により広報した。

ア) 新時代を創るファッションショー「NextUD JAPAN 2023」開催

障害や年齢、性別等に関係なく、だれもおしゃれを楽しめる Next Universal Design (NextUD) を発信するファッションショー「NextUD JAPAN 2023」を、(一社) 日本障がい者ファッション協会のプロデュースで開催した。ランウェイモデルは一般応募 267 名から選出し、オランダから参加したモデルも含めた 12 名。600 名を超える参加者を得て、NextUD を具現化した 10 ルックが登場したなか、H.C.R.2023 出展企業にも協力いただき、先駆的かつ未来を感じさせるデザインの車いすなどの福祉機器もランウェイ上に彩りを添えた。実施内容は、保健福祉ニュース 2024No.1 にて紹介した。

Web 映像公開 令和 5 年 10 月 2 日～10 月 30 日／閲覧数：21,072 ビュー

イ) エンジョイアクティブゾーン “Gotcha!”

パラスポーツ等の魅力や楽しさを発信することを目的に、ボッチャ、車いすラグビー、パラローイング、バリアフリーe-sports、CYBER Sports (CYBER WHEEL、CYBER BOCCIA)、義手・義足体験を実施した。さらにゾーン中央にステージを設け、パラリンピアンやプロ選手、選手を支える専門職などによるトークショーを行った。2 日目には来場者や車いすユーザーと開発・研究者による、夢の車いす創造に向けたワークショップも開催し、共創の空間も演出した。

さらに、各界の著名人や有名パラアスリートなど、総勢 11 名から H.C.R.50 周年によせたメッセージをいただき、トークショーエリアのスクリーンにて放映した。

なお、実施内容の詳細は保健福祉ニュース 2024No.1 にて紹介した。

ウ) いのち輝くアート展

(1) フクシ×デザイン＝可能性～産官学福の共創で社会をつなぐ～

デザインを通じて産官学福が連携し、作品を超えて社会を作りあげていくという (一社) シブヤフォントの取り組みについて、作品や製品の展示とともに紹介した。アーティストの原画を学生がフォント・パターン化し企業が製品化する取り組みの流れを展示等により紹介した。

さらに、保健福祉 News2024No.3 にて開催効果も含めた振り返り記事を掲載予定。

(2) 金澤翔子展 書と生命

書家金澤翔子氏の「共に生きる」「心に光を」等の作品計 5 点を会場内で展示・紹介した。H.C.R.2023 初日には、同氏に席上揮毫 (書の実演) をいただき、来場者に表現力の豊かさや書がもつエネルギーを体感していただく機会を提供した。

エ) 「みんなの会議」伝え・伝わる工夫展

障害や年齢に関わらず誰もが参画でき、伝える伝わるを可能とする会議を実施するためのコミュニケーション支援機器や工夫等について紹介した。

とくに、企業に勤めるさまざまな障害のある登壇者の協力のもと、3 日間にわたり計 9 回の実演を交え、さまざまな身近な生活上のテーマについて手話通訳や要約筆記で情報を場内全体で共有しつつ考える機会とし、毎回定員を超える来場者を得て実施した。

議長 春風亭 昇吉 氏 (落語家／一般社団法人落語ユニバーサルデザイン化推進協会 代表理事)

登壇者 (会議参加者) 企業に勤務する視覚障害、身体障害のある社員と支援員、その他 聴覚障害のある人 延べ 12 名

期 日 令和 5 年 9 月 27 日(水)～9 月 29 日(金)

会 場 東京ビッグサイト東展示ホール 1

運営協力 共用品推進機構、NTT クラルティ(株)

⑤ 出版刊行、情報普及事業

ア) テキスト「福祉機器 選び方使い方 2023 年度版」の Web 発行

「福祉機器選び方・使い方セミナー」参加者が参考資料として活用できるよう福祉機器の選び方のポイントや、使用時の留意点、福祉機器の機能性や効果的な使い方に関する基本的な知識・情報を掲載したテキスト「福祉機器 選び方・使い方 2023」（下記の 10 カテゴリー）を作成し、令和 5 年 9 月に Web 上で公開し情報提供を行った。さらに、実展示会場において冊子化してものを頒布した。

[カテゴリー]

ベッド編、入浴機器編、リフト等移乗用品編、トイレ・排泄用品編、杖・歩行器編、福祉車両編、車いす編、福祉に役立つ情報機器・電子機器編、住宅改修編、自助具編

イ) 国際シンポジウム 2023 報告

H.C.R.2023 で実施した国際シンポジウムの概要をまとめ、保健福祉 News2024No.1 にて広報した。

ウ) H.C.R.セミナー2023 報告

H.C.R.2023 で開催したセミナーの内容をそれぞれまとめて、保健福祉ニュース 2024No.1 にて紹介した。

2. 国際福祉機器展開催事業

(1) 国際福祉機器展開催事業

① 「H.C.R.2023 第 50 回国際福祉機器展&フォーラム」の開催

国内外企業・団体の実展示会出展は **375 社・団体**、うち海外企業・団体は **11 개국 2 地域より 30 社**が出展した。

来場者は延べ **11 万 3,139 名**となった。来場者分類では**一般が 29%**と最も多く、**福祉施設・老健施設 16%**、**販売業が 16%**、次いで**在宅サービス 13%**、**製造業 12%**と続いている。

なお、**車いす利用者は 1,700 名余**が来場した。

期 日 令和 5 年 9 月 27 日(水)~9 月 29 日(金)

会 場 東京国際展示場「東京ビッグサイト」東展示ホール 1~6・8

出 展 社 11 개국 2 地域 375 社 (日本 345 社、海外 30 社)

来 場 者 11 万 3,139 名

配布資料 「H.C.R.2023 会場のご案内」(令和 5 年 9 月 27 日発行、日本語版 80,000 部/英語版 2,000 部)

その他 「Start Up Global Zone」の新設

初の取り組みとして、海外からの初の出展社を対象とした「Start Up Global Zone」を設け、イスラエル、中国、韓国、台湾より 8 社が出展した。同ゾーン出展の特典として、出展料の特別設定とともに、ゾーン内に英語および中国語の通訳者を複数名配置し、必要に応じて来場者説明等の協力を得られるかたちとした。また、同ゾーン出展関係者限定で、日本の福祉機器市場に関する事前説明会を開催した。

[事前説明会]

テーマ 「日本の福祉機器をめぐる現状」

日 程 令和 5 年 9 月 26 日(火)

講 師 後藤 芳一氏 (本会評議員/日本福祉大学客員教授/日本生活支援工学会会長)

② 福祉サービス利用者への福祉機器情報相談提供事業

「福祉機器の利用」や「自助具」に関する相談コーナーを設け、理学療法士、作業療法士、社会福祉士や自助具作成の専門家が来場者の相談に応じた。

期 日 令和5年9月27日(水)～9月29日(金)
会 場 東京ビッグサイト東展示ホール3
運営協力 日本作業療法士協会、自助具の部屋

③ 子ども・子育て支援に関する情報提供事業

車いすや日常生活用品の他に学習機器やコミュニケーション機器など親子が参加して試せる子ども向けの福祉機器を「子ども広場」にて総合的に展示した。あわせて、同広場では専門家による療育等の相談や保育士による子育て相談を実施した。

期 日 令和5年9月27日(水)～9月29日(金)
会 場 東京ビッグサイト東展示ホール3
運営協力 横浜市総合リハビリテーションセンター、東京都
内 容

ア) 子ども用福祉機器の展示：

学習機器・コミュニケーション機器、車いす、いす・カーシート、バギー・歩行器、衣類、入浴・トイレ用具、家具、介護ロボット等

とくに、「伝える・伝わる」「学ぶ、育む」「遊ぶ・楽しむ」コーナーによりコミュニケーション機器や学習支援機器の展示、紹介を実施するとともに、デジタル機器等の活用事例ミニセミナーを実施。

イ) 障害のある子どもに関する相談：療育相談・福祉機器相談、子どもの住まい相談（無料）

ウ) ひとやすみコーナー（休憩）：保育士の常駐により子育て相談等を実施

エ) 「子どものリフト・吊り具 考え方と選び方」を作成し、配布するとともに、Web ページに公開して情報提供を実施

④ 福祉機器に関するトピックスや最新情報提供のための事業

ア) 「福祉機器開発最前線」の設置・運営

研究・開発中または開発間もない最先端の福祉機器の展示と、開発企業によるプレゼンテーションを実施した。

- ・以心伝心（志エンボディ(合)/愛媛大学）
- ・FEEL TECH®（(株) NTT ドコモ）
- ・VUEVO マイク&アプリケーション（ピクシーダストテクノロジーズ（株））
- ・CareWiz トルト（(株) エクサホームケア）
- ・サイボーグ義手プラットフォーム（(株) Mu-BORG/国立大学法人電気通信大学/横浜国立大学/東京理科大学）
- ・見える補聴器（(株) Spacial）
- ・視覚障がい者向け歩行ナビゲーションシステム「あしらせ」（(株) Ashirase）
- ・Futto（(株) YAMADA）
- ・Hineru（ハイネル）HineruChair（ハイネルチェア）（(株) コボリン）
- ・Hapbeat（Hapbeat（合））

イ) 高齢者ヘルスケアカレッジの開催

わが国における人生 100 年時代の到来に対し、介護予防やヘルスケアへの関心が高まっている状況をふまえ、主催者による新企画として「高齢者ヘルスカレッジ」を展開し、延べ 304 人が参加した。

Web 映像公開 令和 5 年 10 月 2 日～10 月 30 日／閲覧数：982 ビュー

[9 月 27 日開催分]

- a 認知症バリアフリー社会 ～ともに創る暮らしと地域～
永田 久美子 氏（社会福祉法人浴風会 認知症介護研究・研修東京センター 研究部副センター長（兼）研究部長）
- b 楽しく気楽にシニアごはん♪ ※料理実演
枝元 なほみ 氏（料理研究家）

[9 月 28 日開催分]

- c 今日から始める！健康体操
石田 竜生 氏（株式会社おふとん 代表取締役）
- d おうちで簡単フレイル予防
山田 実 氏（筑波大学人間系 教授）
- e 解説！今さら聞けない介護保険のい・ろ・は
高野 龍昭 氏（東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科 准教授）

[9 月 29 日開催分]

- f すみれさんのわくわくインターネットライフ～高齢者のためのデジタル活用術～
伊勢 宏子氏（公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会（NACS）東北支部 研修委員長）
- g 高齢者自身による健康のまちづくり～老人クラブの事例
池田 隆明氏（みらいふる鎌倉（（公財）神奈川県老人クラブ連合会） 副会長）
水野 彰氏（鳥取県老人クラブ連合会 副会長）

さらに、転倒事故・誤嚥、防災など事故防止のための情報提供ブースや、認知症相談ブースを設置した。

- h 安心・安全な生活環境 ～知ろう、防ごう、高齢者の事故～
防災や転倒防止、入浴時事故、誤飲等に関する展示実施
協力：東京消防庁
- i 認知症相談窓口
協力：浴風会病院 東京都認知症疾患医療センター

ウ) 体験スペースの設置

「福祉用具相談～福祉機器・自助具のお困りごとはこちら！～」として、作業療法士等専門家が福祉機器の日常生活にかかる相談を行った。あわせて自助具を多数展示したほか、新たに 3D プリンターを活用した自助具製品の紹介や、その場で自助具の制作ができる制作体験も実施した。

期 日 令和 5 年 9 月 27 日(水)～9 月 28 日(木)
会 場 東京ビッグサイト東展示ホール 3
協 力 日本作業療法士協会、自助具の部屋

エ) もっと知ってほじょ犬

「盲導犬」「介助犬」「聴導犬」の 3 種をデモンストレーションの実施も含め、補助犬に関する理解を深める場を設置した。

オ) 世界の福祉機器情報コネクトゾーン

世界各国の介護機器市場に関する現状やロボット介護機器をめぐる動向、今後発展の見込みのある福祉機器分野等といった最新情報を経済産業省や各国大使館の協力のもと、パネル化して展示した。

対象国は、デンマーク、イギリス、オランダ、ドイツ、スウェーデン、フィンランド、米国、中国、インドネシア、タイ、台湾の計10か国1地域。

また、海外企業が日本での事業展開を考えるうえで参考となるよう、日本の福祉・介護制度の概要や市場規模の統計資料等の情報についても併せて掲示した。

カ) 出展社プレゼンテーションの開催

H.C.R.2023に出展社プレゼンテーションの場を設け、出展社の企画・運営によるセミナー実施とプレゼンテーション映像の公開により、閲覧者への情報提供を行った。

期 日 令和5年9月27日(水)～9月29日(金) ※Web展も同様

参加出展社数 24社・団体

⑤ 福祉機器紹介

出展社の協力のもと Web ページにて約1,000点の多様な機器紹介を実施したとともに、検索機能の向上等、閲覧内容の充実を図った。

⑥ 東日本大震災等による被災地への支援事業

大震災で特に被害の大きかった県等近年発生している自然災害により被害を受けた日本各地の障害者就労支援製品を販売する「被災地応援コーナー」を実展示会場内に設けた。

期 日 令和5年9月27日～9月29日

会 場 東京ビッグサイト東展示ホール4

協 力 日本セルフセンター

⑦ 出展企業・団体表彰の実施

国際福祉機器展に多年にわたり出展いただいた企業・団体に対し感謝の意を表すため、会期初日に贈呈式を開催し、古都賢一保健福祉広報協会理事長より記念の盾の贈呈を行った。

《50回出展特別感謝状贈呈企業(国内1社)》

1 アビリティーズ・ケアネット(株)

《40回出展特別感謝状贈呈企業(国内13社)》

1 酒井医療(株) 2 パラマウントベッド(株) 3 株式会社今仙技術研究所 4 スズキ(株) 5 ピジョンタヒラ(株) 6 パシフィックサプライ(株) 7 OG Wellness/オージー技研(株) 8 株式会社アマノ 9 大邦機電(有) 10 株式会社デベロ 11 日進医療器(株) 12 株式会社松永製作所 13 株式会社豊通オールライフ

《30回出展特別感謝状贈呈企業(国内24社)》

1 株式会社いうら 2 株式会社ウェルファン 3 株式会社竹虎 4 フットマーク(株) 5 株式会社ランダルコーポレーション 6 株式会社カワムラサイクル 7 TOTO(株) 8 株式会社イーストアイ 9 安寿/アロン化成(株) 10 昭和貿易(株) 11 シルバー新報(環境新聞社) 12 トヨタ自動車(株) 13 株式会社ユーキ・トレーディング 14 株式会社ケーブ 15 株式会社星光医療器製作所 16 フランスベッド(株) 17 ウィズワン(株) 18 株式会社コムラ製作所 19 シーホネンス(株) 20 (公財)テクノエイド協会 21 株式会社ミキ

22 弘進ゴム(株) 23 東海機器工業(株)／燦 24 矢崎化工(株)

《15 回出展感謝状贈呈企業(海外 1 社、国内 9 社)》

1 アイリスチトセ(株) 2 (株)インタージェット 3 (株)キザキ 4 黒田(株) 5 東京パック(株) 6 日本セイフティー(株) 7 ペルモビール(株) 8 (株)南日本情報処理センター 9 ユーバ産業(株) 10 RIFTON EQUIPMENT (米国)

※ 以上、社名五十音順／アルファベット順

⑧ H.C.R.心像の公開

H.C.R.を象徴する心像をオープニング・セレモニーやセミナー会場等で活用し、H.C.R.のいつものPRとイメージアップに寄与した。

⑨ ビジュアルデザイン制作と記念オブジェとしての活用等

田淵俊夫氏の作品「道」を採用し制作するとともに、オープニングセレモニー会場にて来場者のための記念フォトスポットのオブジェとしても活用した。

さらに、50周年記念ロゴのオブジェをオープニングセレモニー会場や50周年アニバーサリープラザに設置して活用するとともに、それらのデザインを活かした記念Tシャツ等を販売し、来場者のための記念品として貢献した。

⑩ その他

「セルフショップ&カフェ」

日本セルフセンターおよび障害者就労支援事業所協力により、実展示会場内に設けた。なお、H.C.R.2023 来場者の展示会場内の回遊性を確保するための各企画をめぐるスタンプラリーの実施にも協力を得た。

(2) 福祉機器／保健福祉情報提供事業 (H.C.R.Web サイト等による事業)

① H.C.R. Web2023 の開催

H.C.R. 実展示会の開催とともにハイブリッドな取り組みとして、H.C.R.Web2023 を令和5年8月28日(月)～10月30日(月)の間開催し、オンライン上で**379社・団体**が出展し、**1,983,956ビュー**の閲覧を得た。

なお、掲載した福祉機器情報はさらに令和6年3月31日まで延長公開し**2,063,041ビュー**の閲覧を得た。

② Web サイト・アプリの充実

ア) Web サイト・アプリのリニューアル、内容の充実

H.C.R.Web サイトならびにHCR アプリにて提供する情報の充実を継続的に図った。とくに、H.C.R.2023 実展示会参加者登録およびH.C.R.Web2023 閲覧のための登録システムを改良し、H.C.R.Web 出展社が必要な閲覧者情報を獲得できる等の工夫を施した。さらに Web の新機能として**新製品情報ピックアップやお気に入り登録機能を装備**するなど、利便性を一層向上させるかたちで情報提供を継続させた。

また、会場内での利便性と回遊性の向上を目的に H.C.R.アプリの機能を充実し、**2万人**を超える来場者にご利用いただいた。アプリ内では、**会場内マップと現在地のリンクや、セミナー開催前のプッシュ通知、スタンプラリー**など、H.C.R.をより快適に参加していただくための機能を実装した。

イ) インターネットによる福祉機器情報の提供

本会ホームページや H.C.R.Web サイトにおいて H.C.R.Web2023 の出展製品を含む保健福祉関係情報を発信した。

③ H.C.R. 事前告知・50周年記念報告映像等の特別制作と配信

H.C.R.2023 を開催するにあたり、50周年として特別に実施する主催者企画への出演者のメッセージ等も含めた2分弱の告知映像を作成し、H.C.R.Web ページや YouTube にて公開し、来場者誘致に効果を奏した。

さらには、H.C.R.50周年記念ならではの特別実施企画を中心にして編集した、約5分の記録報告映像をまとめ、YouTube にて公開し、ふりかえりの機会とするとともに、次年度開催の予告を行い、出展社募集につないだ。

④ プレスリリースの発行・配信

ア) プレスリリース

展示会の情報を含めた本会事業をマスメディアにより広く一般に周知することを目的に、年間を通したプレスリリースの発行を行った。「Web展「H.C.R.Web2023」特設サイトをオープンしました!」「H.C.R. 2024 第51回国際福祉機器展&フォーラム出展要項等を本日公開」ほか、計9本を発信した。

※会期3日間のプレス取材：120件

イ) ホームページにおける報道機関用写真の提供

報道機関が展示会に係る記事を作成する際に利用できる H.C.R.2023 開催写真をホームページに掲載し、提供した。

⑤ ソーシャル・ネット・ワーキングサービス (SNS) の活用

幅広い分野の方に対して本会の事業ならびに H.C.R.を周知し、国内外の福祉機器に関する有益な情報の提供や、介護・福祉・保健など社会保障分野の啓発・向上を図るため、Facebook を活用して現時点で29の投稿を行った。また、新規に導入したX(旧 Twitter)では8月1日～9月29日の間に45の投稿を発信し、**17万8千ビュー**の閲覧を得た。

⑥ メールマガジンの発信

「H.C.R. Web2023 特設サイトがオープンしました!」「H.C.R. 公式 Twitter アカウントを開設しました!」等、計13本を作成し、1回あたり約67,000人に発信した。

3. 会務の運営

(1) 理事会の運営

- ① 第183回理事会 令和5年6月6日(火)
第1号議案 令和4年度事業報告ならびに決算について
- ② 第184回理事会 令和5年6月26日(水)
第1号議案 理事長及び常務理事等の選任について
- ③ 第185回理事会 令和5年9月27日(水)
報告事項 H.C.R.2023 第50回国際福祉機器展&フォーラム開催内容について
消費税の納税に関する必要な対応の実施について
- ④ 第186回理事会 令和6年3月11日(月)
第1号議案 令和6年度事業計画(案)ならびに収支予算(案)について

(2) 評議員会の開催

- ① 第39回評議員会 令和5年6月26日(月)
第1号議案 令和4年度事業報告ならびに決算について
第2号議案 理事・監事の選任について
第3号議案 評議員の選任について
- ② 第40回評議員会 令和5年9月27日(水)
報告事項 H.C.R.2023 第50回国際福祉機器展&フォーラム開催内容について
消費税の納税に関する必要な対応の実施について
- ③ 第41回評議員会 令和6年3月11日(月)
第1号議案 令和6年度事業計画(案)ならびに収支予算(案)について

(3) 監事会の開催

令和5年度監事会 令和5年5月25日(木)

4. 国際福祉機器展 50周年記念企画の実施

H.C.R.50周年を記念し、会期中に記念レセプションを開催するとともに、展示会場に50周年記念スペースを設置し、福祉制度・施策と機器開発等の進展に伴うH.C.R.の歴史を振り返る情報を発信した。また、50年のあゆみをまとめた記念誌を刊行するとともにWebで公開した。

(1) H.C.R.50周年記念レセプション開催

令和5年9月27日(水)17時15分~18時30分の間、東展示ホール8内の特設会場にてH.C.R.50周年を記念してのレセプションを開催した。

主催者挨拶を村木厚子全国社会福祉協議会会長が行い、続いて来賓挨拶として**武見敬三厚生労働大臣**ならびに**デンマークのメッテ・キルケゴール高齢者担当大臣**から祝辞をいただいた。

その後、古都 賢一保健福祉広報協会理事長の乾杯発声により、約250人が懇親を深めた。さらに、保健福祉広報協会顧問であり、長年H.C.R.事務局として尽力をいただいた**松寿 庶氏**に記念スピーチをいただいた。その後続いて、50回出展特別感謝状贈呈として、アビリティーズ・ケアネット社代表取締役社長の**伊東 弘泰氏**に感謝の盾が贈られた。

なお、H.C.R.50年の歴史を振り返る記念映像を会場ステージスクリーンにて上映した。

(2) 50周年アニバーサリープラザの設置

会場に隣接したスペースでは、H.C.R.の50年を振り返ることができる年表を25mにわたって、各年のビジュアルデザインポスターとともに掲示した。それぞれの福祉制度や社会状況の変動を受け止めながら展示会を実施してきたH.C.R.の歴史を振り返ることができる貴重な機会を提供した。

(3) 記念誌「国際福祉機器展 50年のあゆみ」を刊行

福祉機器展50年のあゆみをWebで公開するとともに、記念誌を関係団体等に配布した。